

テーマ名	19 現代社会と企業活動		
テーマ責任者	深浦厚之	責任部局	経済学部
対象学部	医学部・歯学部・工学部・環境科学部		
趣旨	現代社会の安定と繁栄は、限られた資源を有効に活用し生活水準を維持発展させる仕組みとしての経済活動のもとに成立している。こうした経済の仕組みを、その原理や制度、歴史の変遷、国や地域間の比較など幅広い観点から考察することにより、複眼的で幅広い視点を獲得することを目的とする。本モジュールの履修により、経済学の体系に沿って統一的に学ぶことが可能となる。		
到達目標	<p>豊かさを支えるものについて説明できる：科目「経済活動と社会」</p> <p>企業がどのように組織され行動するか、基本を理解できる：科目「企業の仕組みと行動」</p> <p>政府の経済活動について説明できる：科目「経済政策と公共部門」</p> <p>豊かになるための方法について説明できる：科目「国際社会と日本経済」</p> <p>豊かになるための役割分担について説明できる：科目「地域社会と日本経済」</p> <p>企業の行動や戦略を分析し、評価できる：科目「企業行動と戦略」</p> <p>経済活動の背景にある諸制度について説明できる：科目「社会制度と経済活動」</p> <p>企業活動における会計情報の役割を理解できる：科目「経営情報と会計情報」</p> <p>教養教育の全体目標を理解し、各科目の履修を通して関連目標の達成をめざす。</p> <p>以上を通して、物事を多面的に捉え広い視野から考える能力を身につける。</p>		
学生の皆さんへのメッセージ	前提知識はとくに問わないが、経済や企業について広い関心のある者、先人や他者から謙虚に学び、自発的・積極的に学習を進めていく意欲のある者の受講を希望する。また、新聞や日々のニュースに耳を傾け、社会現象に対する観察眼・批判的思考力を向上させる努力を怠らないようにしなければならない。		

	科目名	担当者名	概要	キーワード
モジュールⅠ	経済活動と社会	福澤勝彦	経済活動とは生計をたてるための人類の活動の総体である。豊かさとは何か、われわれはなぜ豊かでなくてはならないのか、豊かさを手に入れるために何をすべきか等について理解する。	セーフティーネット 労働 国富(GDP)
	企業の仕組みと行動	未定	自由な経済は自由な企業活動によってもたらされる。そして企業活動が豊かな生活を創造する。企業組織の基本的な仕組みや、企業の行動がどのように決まるかについて理解する。	企業組織 企業経営
	経済政策と公共部門	深浦厚之	自由経済社会においても、政府は重要な機能と役割を持っている。政府の行動が経済活動に与える影響に注目し、同時に我々の生活圏としての「公共空間」の意味を理解する。	公共部門 私的部門 社会的厚生
モジュールⅡ	国際社会と日本経済	青山 繁	なぜ豊かな国がある一方で貧しい国があるのか、また貧しい国は豊かになる可能性があるのかということについて、主として文化的・制度的側面から、アジア諸国、中南米諸国、東欧・旧ソ連の現実に触れながら学ぶ。	経済発展 制度 文化
	地域社会と日本経済	豊岡俊彦	日本の社会・経済が持つ独自性や強み、日本経済の歩みを振り返り、日本や地域の固有の経済問題を考察する。	地域連携 役割分担
	企業行動と戦略	勝又壮太郎	「勝ち組企業」はどのような経営をしているのだろうか。変転する環境とどのように関わってきたのか。企業を成功に導くためのヒト・モノ・カネ・情報の使い方について考察する。	経営行動 経営戦略
	社会制度と経済活動	東條 正	市場制度、金融制度、法制度は自由な経済活動を支える土台である。効率的なビジネスのための制度や法律、企業・消費者の利益を守るための制度や法律などについて多面的に考察する。	市場システム 会社制度 金融システム

	経営情報と会計情報	庵谷 治男	簿記は人類史上、最も偉大な発明である。会計情報を典型とする経営情報は企業の意思決定にどのように影響を与えるのか。企業内外の情報の流れと企業活動の関係が緊密化する現代社会の一面を考察する。	意思決定 業績評価 会計情報
--	-----------	-------	---	----------------------

全学モジュールの目標 キーワード、および授業 編成の視点との対応	技能・表現						知識・理解			態度・志向性				※授業編成の視点			
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	A	B	C	D
	自主的探究	批判的思考	自己表現	行動力	日本語コミュニケーション力	英語コミュニケーション力	基盤的知識	環境の意義	多様性の意義	社会貢献意欲	学問を尊敬する態度	自己成長志向	相互啓発志向	哲学的な切り口	歴史・略史を扱う	現代的な話題を取り入れる	アクティブラーニングの活用
経済活動と社会	○	◎					○		○	◎				○		○	
企業の仕組みと行動																	
経済政策と公共部門		◎			○		◎		○	○	◎		○			○	○
国際社会と日本経済	○	◎	◎		○		○		◎							○	○
地域社会と日本経済	◎		○	○			◎			○		○					◎
企業行動と戦略	◎	○	○	○			○			○		○					◎
社会制度と経済活動		◎			◎		◎			○	◎				◎	◎	
経営情報と会計情報		○	○		○		◎				◎	○					○

※工学部・水産学部に係る JABEE 項目